

## 令和元年度協会支援事業助成団体・活動紹介（ボランティア活動支援事業事業）

---

### ● 一般社団法人 北海道健康医療フロンティア（札幌市）

---

#### 事業の実施概要・活動成果

過疎化と高齢社会が進む北海道で、死亡原因の3位の脳疾患は突然襲い、非常に重く生命に危険が及び、迅速な処置を要し、また認知症も喫緊の課題であります。

テレビ出演の名医、症例数日本一、「匠の手を持つ」脳神経外科医 上山博康氏から次のような予防や対応の啓発の講話をしてもらいました。たくさんの健康法が提唱されているのだから、塩分の少ないバランスのいい食事と運動に出来る限り努力すること。そのうえで、イエローカード＝危険信号が出るまでは、人生を楽しんでください。その代わり、イエローカードを見逃さず、出たらすぐに医者にご相談すること。結果によっては潔くベンチで休み、再出発できるように、がんばる!心配するより、出来ることをしたうえで、「人生は一度きり。楽しめ」と。



また体格や健康に恵まれていなかった、オリンピック・スケート・メダリストの橋本聖子氏と岡崎朋美氏からメッセージを戴き、高齢者をはじめ障害のある方もどんな環境でも希望を失わないで生きる、そして健康生活に生かして生きる。病気にならないように自然治癒力を高める意識への転換、食生活で病気にならない体をつくるのが大事であることを、またオリンピックは日本の国のメッセージを世界に発信する舞台であることを講演されました。

免疫力を高める笑いヨガの植田美之氏にも出演していただき、ストレスを発散する体操を会場全員でし、笑いの効用を広めました。

### ● 札幌ハーモニカ倶楽部（札幌市）

---

#### 事業の実施概要・活動成果

オーケストラ形式のハーモニカ合奏団。各施設からの依頼を受けて訪問し、歌謡曲、映画音楽、童謡、クラシック等の曲を演奏しています。

主旋律を演奏するだけでなく、高音、低音のパート別で演奏して、ハーモニカを楽しんで頂き、懐かしいハーモニカの音色はみなさんに喜んで頂いております。

訪問先は、介護老健施設、ディケアサービスセンター、サ高住、町内会、老人クラブ等色々なところから依頼が来ます。誕生会、敬老会、



クリスマス会、新年会等ハーモニカの合奏を楽しんで頂くことで、福祉の増進に貢献しております。

また、ハーモニカ文化の普及にもなっております。

4月には鵜川町を訪問。胆振東部地震で被災された方々を元気づけようと訪問演奏会をしました。

---

## ● 北海道国際女性協会（札幌市）

---

### 事業の実施概要・活動成果

- ・事業名：日本語学習者と会員の交流会(隔年実施)
- ・テーマ：「日本語スピーチ発表会」～伝えたい私の思い～
- ・出席者：会員30名(うち日本語ボランティア15名)、会員外2名、学習者27名 計59名
- ・発表学習者：17名
- ・国籍：中国(9名)、台湾、ネパール、モンゴル、インド、ポーランド、USA、インドネシア、シンガポール(各1名) 9カ国



スピーチに立った学習者は初級から上級まで、各レベルに応じてテーマを選び日本語学習の成果を活かして、自分の言葉で発表した。日本人が普段気がつかないこと、当たり前と思うことが、彼らには驚きであり、理解しがたいことも多々あるか、それらを受け入れ日本の生活に馴染もうと努力している様子等が語られ、会場の視聴者は大変感銘を受けた。

流暢に日本語を話せるようになった学習者は、札幌の大手企業から就職内定を受けたとのこと。他の学習者に大きな刺激と希望を与えた。発表の後、6グループに分かれて、日本語学習者と会員が懇談し、交流を深めた。「まなぶ」のこの発表会は在道している外国の方々と会員相互の多文化共生を実践する大変有意義なイベントになっている。

- ・学習者のべ人数2019. 4～2019. 12  
現在：新学習者68名、継続者12名  
スタッフ数：教室15名、訪問10名
- ・日本語能力試験合格  
2019. 7 実施分 N1 1名 N3 1名  
2019. 12 実施分結果2月下旬

---

● 市民団体ボラギャング（札幌市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

2020年1月11日～12日 防災フェス（光陽小学校体育館）で宿泊体験。

① 12：00～13：00 防災運動会

子ども達が企画・構成・運営・司会進行を行う防災運動会を開催。参加には子ども、地域住民、親子連れが38名あり、応援や見学に走る方もありました。

② 13：30～15：30 東日本大震災講演会

3・11語り部の伊藤俊氏を東北からお招きし、震災当時のお話しをご講演いただきました。

③ 16：00～翌8：00 旅の体育館で宿泊体験

避難所宿泊体験にはボランティア合わせて50名の参加があり、避難所に必要と思うものを各自持参し体感していただきました。

宿泊参加者から「冬の体育館に何を準備すれば良いかが分かった」「子どもたちは他の学校の児童と協同でイベント参加し、楽しみながら交流でき、防災が記憶に残る思い出になりました。」と意見があり、学校、地域が交流するきっかけづくりができました。



---

● 江別市芸能赤十字奉仕団（道央圏 江別市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

1. 団体相互の技能研鑽及び親睦交流
2. 社会福祉施設及び地域自治会の芸能活動
3. 地域のイベント協力（市民文化祭、社会福祉の広場）
4. 関係団体との協議及び意見交換
5. 例会の開催（毎月第4水曜日午後1時より開催。但し、12月～3月まで休会とした。）



---

● NPO ココロココ（道央圏 江別市）

---

• 事業の実施概要

令和元年度は、国内の活動として南平岸地区を中心として、天神山アートスタジオで開催された天神山祭、商店街のお祭、子供食堂、絵本交換会等で子供たちへむけて絵本の読み聞かせを実施しました。また、地域交流の機会としてハンドメイド講座を実施しました。



海外の国際協力の活動としては、日本で不要とされている文房具を集め、発展途上国であるフィリピンの子供たちへ配布しました。また、貧困に苦しむパキスタンの孤児院へブランケットを送るためのチャリティイベントを実施し、ブランケットを集めました。

• 活動成果

地域交流を活性化させるためのイベントを企画、参加などを行うことができました。海外の子供たちへの支援は初めての試みであり、資金面等でもハードルが高かったですが、多くの地域住民が発展途上国で暮らす子供たちの実情を知り、支援に協力してくれました。とある親子は、自宅にある色鉛筆を受け取った子供たちがすぐに使うことができるようにすべて削り、そしてイベントに持参してくれました。こういった発展途上国の子供がのこることを考え行動することは国籍を問わず相手のことを思いやる心が育ち、日本の親子関係や日本の子供の教育にもいい影響を及ぼす効果があると思います。また遠い国の日本人が、恵まれない環境で暮らす子供たちのことを気にかけてくれているという現実、その地域で暮らす人々の生きる力に繋がっていくと思います。実際にフィリピンの農村エリア、貧困エリアを訪れた際には、お互いに言葉は通じませんでした。未来を担う子供たちに対する想いは同じであるため、気持ちは通じ、地域住民たちが積極的に私たちに協力してくれました。そして、この地道な行動を継続していくことにより、支援の輪が広がり、発展途上国と日本との間に繋がりが生まれ、世代を超えてよりよい関係が生まれていくと思いました。

---

● 芸能ボランティア「ツィンクル」(道央圏 江別市)

---

・事業の実施概要・活動成果

令和元年4月より令和2年1月末までに、芸能ボランティア公演を42回実施しました。

延べ参加人数は249名、一公演あたり約6名で訪問しました。

江別市社会福祉協議会経由の公演依頼が15回、当サークルへの直接依頼が27回です。

昨年11月25日には、ボランティア公演開始以来、600回目となり節目公演を「ディサービス結いの家文京台」で実施しました。

公演依頼の内訳は誕生会、お楽しみ会、クリスマス会等施設行事の催しとしてが、大半ですが、町内会(自治会)老人会からの依頼もあります。

新しい施設での公演が7施設、10回以上の施設が8施設、最多19回公演という2施設もありました。

施設入居者の高齢化が進み、設立当初と比べると公演回数は減少気味ですが、皆様から喜ばれており、可能な限り続けていきたいと考えております。



---

● NPO 法人 ナルク 江別 (道央圏 江別市)

---

・事業の実施概要・活動成果

ナルク江別設立20周年記念事業として記念講演会を企画し、工藤 禎子先生(北海道医療大学看護福祉学部教授・看護学博士)に記念講演「高齢期の生活における危機とその管理」について講演を依頼し講演会を開催しました。

ナルク江別の会報はじめ地域のコミュニティ新聞にも記念講演の宣伝を行い、その結果江別市民、地域住民及び会員等沢山の参加があり スライドを使った解りやすい講演は、今後の生き方、考え方に 大変参考となりました。



---

● えべつ若者応援ネットワーク (道央圏 江別市)

---

事業の実施概要・活動成果

北海道浦河町にて2001年に始まった、主に精神障がい者やその家族を対象としたアセスメントとリハビリテーションのプログラムをベースに、札幌市で5年前から行われています。札幌若者の応援ネットワークの参加者から江別市内でも同じような取組を行いたいとの希望により運営メンバー6名と共に準備し、定例会（誰でも参加可能）を開始しました。江別すすらん病院の患者や家族を中心に札幌や小樽からも40歳未満の当事者や家族が参加されております。集まりに参加した方々は「一人じゃない」「話せる場ができた」「生き方が少し楽になった」などの感想を述べています。



---

● 恵庭ギター同好会（道央圏 恵庭市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

今年は恵庭市内の障害者施設"充風の里"をはじめ、しない介護施設のディサービス、さらに、恵庭市立"図書館開館24時"のフェスティバルのオープンセシモニー、さらに市内"夢創館"で大正琴さんとジョイントチャリティーコンサート（売上の一部は恵庭市社会福祉協議会に寄附）を含め、10ステージに出演しました。



ギター演奏、合唱、手品を加え、視聴者に喜ばれて、その笑顔を観るのが楽しみです。ただ、ギター大好きな部員ですが、平均年齢が70歳を超え、ギターを弾く弦に込める情熱は今が旬と頑張っております。

---

● 美しいまちづくり恵庭ネットワーク（道央圏 恵庭市）

---

**●事業の実施概要**

- ・名称：心と体の癒しの広場（月1回）
- ・目的：参加者が笑顔になり、一緒に健康になれる仲間がいて心も体も元気になるコミュニティを作ります。岡田式健康法（浄化療法(エネルギー療法)、美術文化法（花、茶の湯））にて自然治癒力を高め心身ともに癒され、健康になり、この場を通して人と人とが繋がり支え合いコミュニティを作っています。



**●活動成果**

ストレスが原因で体調を崩す方、地域で孤立しがちな方、などが岡田式健康法を体験することで、心身ともに癒され、参加された方々が元気になりました。

参加者同士、またボランティアとのコミュニケーションを重ねることで、気力の充実、明るく、前向きな気持ちになって帰られるかたも多数、毎回参加を楽しみにしています。

受け入れ側のボランティアも参加者の笑顔、喜びや元気になっていく姿を見せてもらうことで、やりがいを感じ、より一層社会に貢献して行きたいという思いが高まっています

---

## ● マチックブラザー（道央圏 北広島市）

---

### 事業の実施概要・活動成果

1年を通し施設等からの依頼があって実施しています。

依頼が特に多い月は、9月の敬老の日、12月のクリスマス、1月のお正月です。

年30～40回実施しています。



---

## ● 子育て支援ワークス ほけっとママ（道央圏 石狩市）

---

### 事業の実施概要・活動成果

北広島市より、「ほっとよむ トイライブラー もくてい mokty」さんに来ていただき、おもちゃやゲームで遊び、お気に入りをお貸し出してもらいました。

夏休み中の企画だったので、幼稚園児や小学生の来場も多数あり、年齢に合わせたおもちゃやゲームを楽しみ、12点の貸出がありました。

石狩市には、おもちゃレンタルを行っているところがないため、来場者数も予定人数より大変多く、反響の大きさを感じました。また、ママ自身がゲームや積み木に興味を持たれた方がたくさんいました。

1週間後の返却の際には、「いっぱい遊びました。」「お友達も来て盛り上がっていました。」など喜びの声も聞かれました。普段、家におもちゃで夏休みを楽しく過ごすことや北広島市まで行けない親子にも十分楽しんでいただくことができました。

後日、おもちゃの返却を兼ねて、メンバーで視察もさせていただき、温かみのある、子ども達が手に取りやすい、保護者の方が借りやすい陳列、館内を学ぶことができました。



---

● 稲穂ふれあいサロン（道央圏 岩見沢市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

ふれあいサロンを設立して8年目に入りますが、初めて助成金をいただいてとても助かりました。福祉センターの方からいただく資金だけで行ってきて、できるだけ工夫して、手作りとか考えて、細々とやってきました。100円でも、200円でも皆さんからいただいてやろうかと考えたのですが、始めた時は1ヶ月5,000円をいただいたものですから、始めから始めからもらわない事を決めてスタートしました。それが、福祉センターの方も財政が毎年大変になってきて、今は少しになりました。事情を聞くと仕方のないことと思っています。それで初めて助成金をいただいて、夏には七夕で、冷たいソーメン、12月のクリスマス会では、炊き込みご飯などを作って、昼食会も皆さんとできました。



毎月のサロンも、ワンパターンにならないように私もいつも考えています。昔と違って高齢化している町内会では、今、集まりの行事がほとんどとっていい位ないです。

話題となって、岩見沢新聞、空知プレスに2回載せていただいたり、毎月、がんばって来る人には3年前から皆勤賞を贈りました。パソコンで作成したもので、カラーでとてもきれいです。

---

● サロン23（道央圏 岩見沢市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

申請時の予定人数を超える参加者がありました。7月、12月の3世代交流の事業が功を奏したと思われます。単身の高齢者が多いので、若い親子との交流は喜ばれました。

参加者の固定化の傾向があり、参加者の拡大に努めたいです。



---

● 幌向脳はつらつ元気サロン（道央圏 岩見沢市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

地域の高齢者の参加を推進し、心身や脳の活性化を促すために、毎月第4月曜日午前10時～12時、幌向ほっとかんにて歌、ラジオ体操、ひゃっぴい体操、脳トレゲーム、簡単な制作活動、ふまねっと、体を動かす簡単なゲーム、保健師、歯科衛生士による講話、季節に応じた取組（お食事会（設立記念）、クリスマス、ひなまつりなど実施しました。

活動の成果としてサロンを楽しみに毎回参加してく

れる方が多数いらっしゃいます。新規の会員（参加者）も少ないながらも増えています。



---

● 幌向第23町内くさかりたい（道央圏 岩見沢市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

（1）町内の空地（53区画）を年4回の草刈りを実施。 212区画 延べ212名

（2）地区内の神社の境内の草刈りを年3回実施。 延べ25名

（3）地区内を流れるダルミ川の河川敷の草刈りを年3回実施。延べ23名

（4）地区内の緑道の草刈りを年2回実施。延べ8名

（5）地区内の雪捨て場の草刈りを1回実施。延べ9名

（6）町内の空地のゴミ拾いを整地1回。16名

（7）町内の街路樹68区画の掘り起こしと堆肥1回。 9名

（8）町内の街路樹68区画に花の苗植え（1区画に10株合計680株） 13名。

（9）町内の街路樹68区画の草取り3回実施。延べ39名

（10）町内の街路樹68区画に追肥2回実施。延べ29名。

（11）町内の街路樹68区画に水やりを会員で実施（その都度）。



---

● 環境ボランティア幌向（道央圏 岩見沢市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

●花関係

・幌向駅1番ホーム南側花壇(約69cm、花苗約420本)の造成・管理。

・駅改札前通路花鉢展示(約30鉢)、水やり・花殻摘み等管理。草刈関係

・駅1番ホーム花壇に接続するJR敷地および空地(約710㎡) 4回の草刈実施。

・幌向小学校横大排水路との空地(120㎡) 2回の草刈実施。

●踏切周辺

・2号踏切・3号踏切、清掃・草刈実施(3回)。

●一斉清掃

・国道一線路間、北防風林一北1線道路(1号道路～3号道路) 年2回予定したが雨天中止となり1回しか実施できなかった。

●活動成果

・平成20年4月発足以来12年間活動を続けてきたが、地域の皆様から、幌向のまちが変わったと、高い評価をいただいていると自負しております。

・他団体と同じく、活動する人の固定化、年齢の高齢化、役員のなりて不足等々問題もありますが、あと10年は活動を続けたいと思っております。

●今後の活動予定

基本的には昨年と同じ活動を予定しておりますが、草刈の燃料・消耗品以外は、無償のボランティアで実施してまいりました。

活動者の減少・高齢化に鑑み、来年度より有償ボランティア(花植え・草取り等)にする予定です(1時間300円)。

資金不足になると思われませんが、これまでの繰越金と広く寄付金を集め会を運営して行きたいと考えます。



---

## ●幌向川さくら作戦21（道央圏 岩見沢市）

---

### 事業の実施概要・活動成果

#### ●桜関係

・例年、桜の開花期、記念植樹者に案内を出し、慰労と懇親を目的に花見焼肉会を開催している、昨年は8名しか出席がなかったが今年は多数の参加を希望します。

・桜記念植樹、昨年は会員皆様の努力により、申込者18名と予想をかなり上まわりました、今年は昨年の反動もあると考え5本の計画にしました。

・桜植樹は旧幌向川河川敷で満杯になるので、本堤への植樹を河川事務所とも協議を行い、会としての方針を決めていきたいと思えます。

#### ●草刈関係

・例年と同じ年4回の清掃・草刈を実施した(約5,300㎡)



---

## ●国道みまもりたい岩見沢（道央圏 岩見沢市）

---

### 事業概要・活動成果

#### ●花関係

・街路樹柵15柵・9社・総延長221 m・総面積243㎡の花壇造成・管理を実施した(花苗はベコニアピンク色)。

#### ●清掃関係

・一斉清掃(地下道3ヶ所含む)を年2回、大和町(休憩駐車場)年3回実施した。

#### ●草刈関係

・街路樹柵22柵・総延長713 m・総面積784㎡の草刈(芝刈機、草刈機)を年3回実施した。

・地下道(地上部12ヶ所)および歩車道境界の草取りを2回実施した。

・大和交差点(三角地)の草刈(草刈機)を年4回実施した。

#### ●活動成果

まだ充分ではないが、花関係地元企業・住民の協力を得て初期の目的は達したと思えます。

清掃活動は大和町(休憩駐車場)の汚れが酷く、昨年3回(計画より1回多い)実施したが回数を増やす必要あり。

岩見沢市中心部街路樹柵の草刈は、頭書計画どおり3回の草刈を実施し目的を達成しました。



---

●ほろむい♪うたエール（道央圏 岩見沢市）

---

**事業概要・活動成果**

・ほろむい♪うたエール「うたごえ広場」第100回記念事業を、予定通り2019年11月23日(土)に開催しました。当日の参加者は例会平均の1.7倍の69名。

演奏者は、アコーディオン奏者とエレクトーン奏者の2名。

内容は二部構成とし、第一部は「よっちゃんの出前歌声喫茶」。第二部は「エレクトーン演奏と合唱」。

・第一部ではアコーディオン奏者による「よっちゃんの出前歌声喫茶」で、1時間半、童謡や懐かしい歌、季節に合った歌など20曲を歌集を見ながら全員で唄いました。

奏者の巧みなトークと演奏に感動しながら楽しいひと時を過ごせました。

・第二部はエレクトーン奏者による演奏で、オリジナルの「うた♪エール～幌向のまちで～」を全員で唄いました。歌詞はスタッフで考案し、それにこの奏者が曲を付けてくれ、テーマソングとして例会で時々唄っています。数曲はみんなで唄える曲を、その外はエレクトーンによるオーケストラ並みの臨場感あふれる演奏を聞かせていただきました。

・開催案内は、チラシを作成し公共施設等へ貼りだしたり、地区町会への回覧文書発行や市の広報誌掲載、地元新聞社への記事掲載をしていただきました。

・その甲斐があり、参加者の中には地元以外の方で市の広報誌をみて参加され、今後も参加したいとの感想もありました。



---

●室蘭子ども劇場（道央圏 室蘭市）

---

**事業概要・活動成果**

「よろず劇場とんがらし」主宰で元保育士・成田良治さんの子育てトークを行いました。

幼児～小学生の子を持つ母を中心に男女約30名が参加し、日々の子育ての悩みにヒントをもらったり、ストレスを癒したりする時間となりました。

託児も行い、久々に子どもから離れて話を聞いたお母さんたちからは「『子育てしているときが一番輝いています。楽しいです。うらやましいです』という言葉が身にしみました」「1週間かけて育児書を読むより今日の1時間は励みになりこれから前向きに子どもとすごすことができそうです」等の感想がありました。



---

●室蘭朗読奉仕者の会（道央圏 室蘭市）

---

**事業概要・活動成果**

市内に居住する目に障害がある人を対象に、次のサービスを無料で行っています。

- ・音声（テープ、CD）による生活情報（健康や暮らし、身近な市内の出来事など）を郵送を提供しています。
- ・音声（CD）による市の広報誌「広報むろらん」を郵送で提供しています。



---

●室蘭ふきのとう文庫（道央圏 室蘭市）

---

**事業概要・活動成果**

・布絵本等作品の製作は会員減少により思うようにいっていませんが、会員皆頑張っ、1つでも作品を作りたいと思っています。

・今年度はきらんへ作品をプレゼントし、来場者に喜んで遊んでもらっています。

・ここらんへ新しいコーナーを作ってください若いお母さん達にもふきのとうの名前が浸透してきています。



---

●てんまる堂（道央圏 室蘭市）

---

**事業概要・活動成果**

伊達市は北海道で唯一藍が栽培され藍染体験が可能です。小さな子どもも藍染を体験できるように、藍を育てその生葉を使って色を付けるワークショップを室蘭と白老町(トビウキャンプ)で開催しました。藍を育てる鉢に土の絵の具などの天然顔料で描く楽しさも取り入れ、体に環境にもやさしい、地域に根ざした「色」の体験を提供しました。

ワークショップでは親子連れを中心に、藍を見ることがない参加者、幼児から高齢者まで幅広い世代が、藍の葉で色が付けられることに素直に感動し、手を紺色に染め、色のムラも個性として「世界にひとつだけ」の作品を作っていました。

また、藍を育てる鉢に絵を描き、藍を育て、葉を使って色をつけることで、自然のもの活用の活用を深く体験できました。アンケートでは藍を育てることが難しかった、という



声も多く、植物の恵みが簡単に得られるものではないことを実感できたのではないかと思います。

---

### ●母恋駅を愛する会（道央圏 室蘭市）

---

#### 事業概要・活動成果

毎月第2土曜日、午後1時30分からイベントを開催しました。月平均30名の来場があり、20数年続けている活動が定着していると感じます。来場者は幼子から90歳を超える高齢者までと広範囲の年齢の方が集まってくれています。

交通安全教室、生き生き健康教室など専門の方を招いてお話を聞くことで交通ルールや健康生活への関心を深めていけるのではないかと思います。

また参加型のイベントでは歌を歌ったり、昔の遊びをしたりと来場者はとても楽しんでくれました。



### ●福祉社交ダンス「ときめきの会」（道央圏 室蘭市）

---

#### 事業概要・活動成果

今回、初めて競技会に参加するために、10回に渡る特訓を受けることになり、技術レベルの向上が計られました。

大会に出て、多くの人に見られ、さらには、プロの先生の評価を受けるという経験は、次のステップに上がるために非常に必要なことと感じました。

まだまだ、5年目の会ですが、これを契機に障がい者のノーマリゼーションの達成のために会を盛り上げる方策を考えるきっかけになりました。



---

## ●室蘭ジャズサウンド協会（道央圏室蘭市）

---

### 事業概要・活動成果

当日は、天候にも恵まれ、約300名位（一部道の駅「みたら」に来た観光客も含む）の市民の人達が来てくれて、地元商店街との連携イベントもあり、盛大のうちに終わることができました。

今回が2回目となり、「大黒島の夕日を見ながらジャズを楽しもう」という企画が定着しつつあり、来年以降も続けて実施し、全道各地からもバンドを呼びイベントも拡大を計りたいと思います。

また、このイベントを通して多くの市民の人達に、ジャズを楽しんでもらい、市の音楽活動の活性化にも繋げていきたいと思います。



---

## ●美光町内会（道央圏苫小牧市）

---

### 事業概要・活動成果

令和元年12月22日（日）、苫小牧信用金庫美園支店前交差点で、交通安全歳末警戒活動を実施しました。

広報車マイクでの交通安全の呼びかけや停車中の自動車や通行中の歩行者にポスター棟の配布、美園交番警察官の参加も得て交通安全旗の波で交通安全の呼びかけを行うなど、道民に対し交通安全の啓発いたしました。



---

## ●有珠の沢町内会（道央圏苫小牧市）

---

### 事業概要・活動成果

犯罪、事件、災害の未然防止のため、月1回、市内パトロールしております。

このパトロールにより地域安全に対する関心が高まり、地域犯罪の防止に貢献することができました。

また、9月22日、住民避難訓練を行いました。約90名が参加し、昨年の地震を踏まえて避難ルートの確認や炊き出し訓練などを行い、万が一の災害発生に備えることで迅速に避難する意識を高めることができました。



---

● 苫小牧 BBS 会（道央圏 苫小牧市）

---

### 事業概要・活動成果

5月24日定期総会にて行事計画の中で胆振東部地震被災地の子どもとの交流を提案しましたが、胆振東部地震被災地はまだ復旧復興途上で、現地に出向いての活動は難しいのではないかと意見が参加者からあったため、6月22日苫小牧保護司会主催4者連絡協議会(メンバー:保護司会・更生保護女性会(苫小牧・追分)・協力雇用主会・BBS会)にて提案し、参加者より承認を頂きました。



7月9日安平町教育委員会・はやきた児童センターを訪問し趣旨説明。《胆振東部地震早期復興を願って》オホーツクウッドブロック体験会と題し、9月28日(土曜日)開催で準備に入りました。

児童センターの特色上、当日はやきた児童センターに来所した児童生徒に自由に参加して頂こうとの趣旨から参加申し込みを取らずに実施することにし、広報活動として案内ポスター掲示の他、広く児童生徒に体験会を周知するために安平町教育委員会を通し安平町小中学校(小学校4校、中学校2校)にチラシ(B5版白黒印刷)300枚を配布しました。

9月28日、晴天の中13時開始を目指し10時から会員支援者の協力を得て、オープニング用「ナイアガラの滝」製作に入るも完成間近になった11時40分頃、突然、中央付近から崩れ出すハプニング発生。再度挑戦し、12時30分に会場した運営支援の方々にも児童生徒を迎える為の「ナイアガラの滝」製作に加わって頂き、開始予定時間10分遅れの中で完成しました。

この度の作品作りで、一段目の土台に沿ってブロックを目標の高さに積み上げていく正確さがいかに重要なポイントであるかを痛感した次第です。

開始にあたって楽しく遊ぶ“3つの約束”『1. お友達のをこわさない。2. こわれても泣かない。3. こわれても怒らない。』を共有し、小学生12名、幼児24名参加の下「ナイアガラの滝」(高さ1.5m長さ10m)を崩すところから開始しました。「ナイアガラの滝」崩しでは児童からブロックを抜く希望者を募り6人が手を挙げた為、ジャンケンで決めました。苦労して積み上げた作品も最後の柱が残る場面もありましたが、ブロックがカラカラと音を響かせ崩れ落ちていく時の様子を参加者一同夢中になって見入っていました。

次に、運営支援関係者も児童生徒に声掛けをしながら一緒にブロックづくりに参加しました。

はやきた児童センターには「カプラ」が常備されている為、馴染みの玩具ではありますが8,000本のウッドブロックを前にして幼児も興味深々の様子。

ブロックを高く積み上げ、タワーを造る、作品見本の写真を見ながら思い思いに作品作り、13時10分から14時30分短い時間でしたが思い描いた作品が途中で崩れて

もまた、繰り返し作品作りに挑んでいました。

終了にあたっては、運営支援関係者より参加者へ、「これから大きくなっていく(成長)中で思うように行かないことに行き当たることがあるかと思うが、今日のブロック作りのように途中で投げ出さないように頑張ってください」と励ましの言葉が寄せられました。

幼児は14時で体験会を終えましたが、参加者におやつ(キャンデーステック)と社会を明るくする運動リーフレット・参加して頂いたことへのお礼のチラシを入れた袋詰めを配布しました。

終了後ではありますが小学生の参加者の中には、はやきた児童センターに登録していない生徒が3人含まれていたことがはやきた児童センター職員から聞き、小中学校に配布したチラシを見て参加して頂いたと思えることから被災地安平町での被災地の子どもとの交流を趣旨として開催した目的に沿った形で終わることが出来たものと考えます。

被災して1年が経過した中、早来中学校では仮設校舎での授業また、仮設住宅での不自由な生活をなされている児童生徒がおられることと思います。参加して下さった幼児、小学生の中にもそうした環境の中におかれている方もいたかと思いますが、関係機関の支援の下、想像豊かに自由に過ごす時間を共有できましたことは少しでも復興の励みとなれたことと感じております。

---

● 苫小牧市町内会連合会婦人部会（道央圏 苫小牧市）

---

### 事業概要・活動成果

各町内会で高齢者支援等に取り組む女性役員を対象に、地域福祉の関わり方等について研修会を開催しました。

「いつまでも住み慣れた地域であなたらしく!」をテーマに、NPO 法人シーズネットの生活支援担当部長柿沼英樹氏を講師に迎え、研修講演会を実施。

『健康で豊かな生活を持続するためには!』という内容の講話と、それに伴った脳トレの実践プログラムを体験するという内容でした。

本研修会の成果としては、参加者は地域福祉の実情について見識を深め、また活動現場(ふれあいサロン等)での実践方法についても習得する事ができました。

参加者からは「大変有意義な研修であった。町内会での福祉活動に活かし、より充実したものになりたい。」との感想を多数頂き、その後サロンで早速実践し好評でした。との報告も受けています。



---

●しらかば東町内会（道央圏 苫小牧市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

昨年5月神奈川県で発生した登校中の児童が凶器で危害を受けた事件など、近年、児童生徒の事件被害が多く発生していることを受け、子どもたちの安全確保のため、町内における下記2項目を目標に、見守り活動を行いました。

1. 地域住民は犬の散歩・草むしり・近所への買い物等の日常的外出を、意図的に児童生徒の通学時間帯に合わせて行なうことで、子どもたちが人目の少ない場所で1人きりになる状況を極力作りません。

2. 地域住民は、児童生徒と積極的に挨拶や会話を交わし合い、顔見知りの関係・信頼関係を築き、この関係を大切にします。

令和2年2月下旬以降は、新型コロナウイルスの影響を受け、児童生徒の外出が激減したことに伴い、見守り活動の機会も減りましたが、今後ともこの活動を継続して広げて行きます。



---

●視覚障がい者外出支援ボランティアさわやかともの会（道央圏 伊達市）

---

**事業の実施概要・活動成果**

当会の設立20周年記念として、「小樽への旅」を企画しました。

参加人数は少々減りましたが、13名笑顔で出発しました。

目的地は、小樽運用周辺、堺町通り散策です。

お陰様で、視覚障がい者の「引きこもり防止」となり、また、我々はボランティアは、窓から見える風景や事象を伝えることで、経験値の拡がり、事故もなく楽しい旅となりました。

---

●追分更生保護女性会（道央圏 安平町）

---

**事業の実施概要・活動成果**

2月20日から3月4日まで追分公民館にて、自宅で眠っているひな人形を集め展示し、多くの町民に見ていただきました。3月2日は「ひなまつりお茶会、読み聞かせ会」として更生保護女性会で手作りの桜餅と抹茶をふるまい、安平町の”はやきた””おいわけ”両子ども園の年長園児を招いて日本の古い文化にふれ、読み聞かせ会を楽しんでいただき、お茶の作法を経験していただく予定でした。（毎年恒



例の行事として定着しております)、買い物を済ませ準備万端でしたが、「新型コロナウイルス」の感染拡大防止のため行事自粛の方針が出されたため両子どもの招待は中止の連絡をし、手作り桜餅や抹茶も中止。購入した菓子と紙コップ使用のお茶で消毒を心がけて「ひなまつり会」は開催しました。例年より人数は少なくなりましたが、町民交流の鳩なり楽しんでいただけました。

---

### ● さくら会 (道央圏 日高町)

---

#### 事業の実施概要・活動成果

助成金受けた事により活動の場所代も支払い、会員の決定にもつながりました。

1年間、継続してボランティア活動にも参加できました。今まで持ち出しが多く会員に負担かけていた分もありましたが、今後、安心して桜会の活動ができそうです。

月1回の定例会及び社協へのボランティア活動にも会員一同協力していきます。



### ● フラワーマスターの会江差 (道南圏 江差町)

---

#### 事業の実施概要・活動成果

江差町を訪れる観光客などを季節の「花」でお出迎えするため、公共施設・観光施設(江差町役場、江差町文化会館、開陽丸青少年センター)の花壇、樽のプランターなどでの植栽を年間を通じて実施しました。

また、9月20日~22日に江差町文化会館で開催された江差追分全国大会において、会場入口及びロビーにハンギングバスケットや鉢の寄せ植えを展示しました。



### ● 柏っ子教室「すくさぼ」(十勝圏 帯広市)

---

#### 事業概要・活動成果

高校生スタッフ登録数9名、大人ボランティア7名、児童登録数8名で活動をしています。算数・国語のプリント演習を中心に高校生が学習支援するスタイルは前年度から継続しています。今年度は高校生ボランティアの成長の場としての位置づけをスタッフ間で確認し、大人ボランティアがそれをサポートする役割としました。結果、大人のスタッフもより生き生きと活動してくれるようになっていました。また、年間2回の実施を計画した「家庭科実習」の1回目を12月21日(土)に実施しました。小学校や学童に案内を配布し、最終的に大人、子ども合わせて40名の参加となりました。また食材は地域のコミュニティ誌「どうでり」に提供希望の内容を掲載すると、イベントの趣旨に賛同してくださる方から野菜や肉の提供があり費用を3分の1程度まで圧縮することに成功しています。地域の認知度は少しずつ高まってきたので、次年度は対象としてきた柏小学校以外にも範囲を拡げ参加児童数を増やすとともに、学習に関する様々な困りごとに答えていけるような活動を展開していきます。



---

●帯広図書館友の会（十勝圏 帯広市）

---

### 事業概要・活動成果

令和元年11月17日(日)、帯広図書館で「アイヌとカムイのおはなし」をテーマとした講演会を開催しました。

講演会は、アイヌの昔話とカムイを中心としたDVDやスライドを使って進められました。松浦武四郎の道案内を勤めたアイヌの働きの大きさは近年、テレビ等で紹介されるようになりました。アイヌの



言葉からつけられた地名を持つ北海道は、アイヌを身近に感じつつ、実はよく知らないアイヌの世界をわかりやすく関心を持って聴かれる良い機会となりました。

---

●老人クラブ東部福寿会（十勝圏 音更町）

---

**事業概要・活動成果**

人の出入りの多い音更町総合福祉センター入口に、老人クラブ東部福寿会の事業として花壇を整備しました。花壇整備作業自体は、同じ地域の南部福寿会、中央福寿会と一緒に作業を行いました。



---

●オカリナサークル鳩笛（十勝圏 音更町）

---

**事業概要・活動成果**

4月から12月までで計13カ所を訪問し、皆さんに大変喜んでいただきました。

来年も引き続き活動を続け、音楽の普及と心の健康増進に貢献していきたいと思えます。



---

●フラワーシンフォニー（十勝圏 音更町）

---

**事業概要・活動成果**

1. 4/24 音更町役場玄関と道の駅パンジープランター18個設置

この週より、会員が週1度、順番で花管理（11月中旬まで）。

5/23 音更高校生と協同で、役場、道の駅、夏の花プランター40個設置

8/7 音更高校生と協同で、花の管理、植え替え

10/15 音更町役場、道の駅、葉ボタン18個設置

11/30 音更町役場、道の駅、葉ボタン18個除去



音更町役場、道の駅に花を飾ることで、警官が良くなり、周囲に潤いと癒やしの空間ができ、人々の心を和ませています。

2道立緑ヶ丘病院（精神科）、デイケア通所者の皆さんと、4月始めより11月中旬まで花や野菜作りの技術指導を週1度会員が実施しています。作った花は病院の花壇に植え、栽培した野菜は通所者が収穫して、昼食の材料として利用しています。デイケア通所者が花・野菜を作り、土とふれあうことで、社会復帰のお手伝いをしています。正面玄関の花壇は、病院へ来る人の心の癒やしになっています。

---

### ●自然そのまんま美術館（十勝圏 音更町）

---

#### 事業概要・活動成果

今年度は、4月13日（土）、すみれの植え替え（音更町生涯学習センター南側使用）、5月11日（土）、ゲートボール入門講座（音更神社下のゲートボール場にて）、6月8日（土）、音更町柳町水辺楽校、（河川敷～植物）観察、9月14日（土）、オカリナコンサート（音更町生涯学習センター南側）、10月12日（土）、葉ボタン寄せ植え（音更町生涯学習センター南側）を実施しました。



参加者延べ人数80名、運営側は3名で行いました。来年度は、水辺の楽校中心で、出来たらと思っています。

---

### ●ひろねアハハの会（十勝圏 新得町）

---

#### 事業概要・活動成果

閉じこもりがちな高齢者等に対する、生きがいと社会参加を推進することと共に、社会的孤立感を解消及び自立生活の助長を図りました。体操等を実施。心身機能の維持向上、特殊詐欺に関する教養講座を実施しました。町内のバスを利用し、浦河町までのバス遠足、町内福祉施設の見学しました。



今年度、町内にある高等支援学校の現場実習において、高齢者と学生との交流を実施しました。実施内容として、ボランティアスタッフとともに、アハハの運営に協力していただきました。

---

●特定非営利活動法人まくべつ町民劇場（十勝圏 幕別町）

---

**事業概要・活動成果**

幕別町百年記念ホールの生涯学習講座の一環として「はじめての手話講習会」（全10回）を開催し、町内及び近郊に住む30代から70代の11名（男性3名、女性9名）が受講しました。

講師に帯広ろう者協会手話対策部講師の丸山氏を招き、日常生活における手話の指導と聴覚障がい者を取り巻く現状の講話を行いました。北海道ろうあ連盟から毎回1名の手話通訳者を派遣してもらい、受講者と講師のコミュニケーションをスムーズに行うことができました。



この講座の成果として、受講者に耳が聞こえない世界を想像、理解し、指文字やいくつかの手話を覚えてもらうことができたのはもちろんのこと、回が進むごとに受講者同士や講師との交流が深まり、今後も継続して手話に親しむきっかけを作ることができました。

---

●釧路 BBS 会（釧路・根室圏 釧路市）

---

**事業概要・活動成果**

雪合戦は、あらかじめまりも学園において作られていた小・中高生別のチーム（各2チームずつ）にBBS 会員が1名ずつ入ったチーム対抗戦で、1試合3分とし、2試合ずつ行いました。

雪合戦実施後、まりも学園内で子ども達と昼食を取りました。昼食前には、BBS 会からみかんとチョコレートを差し入れ、子ども達と談笑しながら食事をしました。



食事を終えた後、食器の片付け等を手伝い、解散しました。

試合中の子ども達の表情はとても笑顔で、エキシビジョンマッチを所望するほどには楽しんでいただようでした。怪我等のアクシデントも特になく、大成功に終わりました。

活動終了後の例会では、来年度に向けての反省点として、活動終了後に集合写真を撮影する予定でしたが、失念してしまったため、注意すべきであったことが挙がりました。

本活動は、当会にとっては数少ない子どもたちとの交流の機会のため、来年度以降も積極的に実施していきたいです。

---

●子ども共育支援ミライエ（釧路・根室圏 釧路市）

---

**事業概要・活動成果**

事業の実施概要として、当団体の活動目標の一つに「子供たちが健やかに成長できる環境作りと豊かな地域づくり」をあげております。そのための活動に防災、防犯活動の必要性を感じ、啓蒙活動を実施することにいたしました。警察の防犯活動「いかのおすし」を活用し釧路市内の幼稚園、小中学校へ回ります。



年齢によって防犯活動の内容が異なることから、まずは低年齢層から始めました。

成果としてはまだ始まったばかりで改善の余地はあるものの、関係団体に周知していただくことから始めましたが、学校以外の児童館その他子供の集まるイベントなどの需要があるのではとの声をいただきました。

今後は高学年向けの物も考えるなど、子供たちが健やかに成長できる地域作りを行って参りたいと思います。

---

●釧路町赤十字奉仕団（釧路・根室圏 釧路町）

---

**事業概要・活動成果**

予定通り、「釧路町健康福祉フェスティバル」において、炊き出し訓練を行いました。

施設2階の調理室で野菜等の準備をし、野外で移動かまどを使い、カレーを作成。1階で来場者への試食を提供しました。これまで作ったことのない量の調理でしたが、概ね、スムーズに終わることができました。



「何事も経験することが大事」と常日頃、団員同士話しておりますので、災害が起きないこと、私たちの出番がないことが一番良いのですが、万が一の時には、この炊き出し訓練の経験がとても役立つものと思われま

---

●別海村開村八十八周年記念別海音頭保存会（釧路・根室圏 別海町）

---

**事業概要・活動成果**

別海町歴史文化遺産に認定され、私達の活動にも大きな力となりました。今年度、計画の事業も無事終わることができました。

10月13日開催の旧奥行白駅通所での散策デーでは、当日、大型台風とぶつかり、各イベントが中止となる中で、この事業は外で行うイベントはできませんでしたが、想像以上の来場者に、私達のおもてなしの心を伝える事ができました。

今年度の事業を継続しながら、次年度も新たな目標に向かい、会員一同活動していきます。



---

●三小ボランティア（道北圏 旭川市）

---

**事業概要・活動成果**

1. 交通安全指導

(1) 指導日

- ・毎週月曜日・入学式から2週間
- ・全国安全週間  
春：4/6～15、秋：9/21～30
- ・毎月初めは PTA と合同指導

(2) 時間

午前7時25～8時10分頃まで

(3) 箇所

- ・交差点3ヶ所
- ・横断歩道3ヶ所 計6ヶ所

(4) 臨時

三小要請による。（警察署から情報提供）緊急



2. 環境整備事業（PTA と合同事業）

(1) 活動内容

- ① 三小校庭の除草、② バス橋通りラベンダー刈り、③ 三小校庭の樹木剪定

3. 学校支援事業

(1) 内容

- ① 新一年生交通教室、② 昔遊び集会、③ 愛のパトロール（夏休み・冬休み）  
④ その他（学校より支援要請）

---

## ●あさひかわサケの会（道北圏 旭川市）

---

### 事業概要・活動成果

約70余名の市民にご参加戴きました。式に先立ち一般社団法人川村カネ子アイヌ記念館副館長の川村久恵さんによる参加者の理解が深まるようにと、「カムイチェプノミ」の解説が行われました。

儀式は、アペフチカムイ(火の神)に祈りをささげた後、七つの神々へ祈りをささげ、最後にイナウ(木幣)を川へ投げ入れて終了しました。その後、川村久恵副館長によるアイヌ伝統楽器ムックルの演奏が行われ

ました。最後に参加子どもたちによる「サケ神輿」と「サケ〇×クイズ」が行われ、供え物から下げられた「鮭」「野菜」を活用した「石狩汁」を全員で食し、楽しいイベントとなりました。



---

## ●北野寺子屋サポート隊（道北圏 鷹栖町）

---

### 事業概要・活動成果

鷹栖町在住又は保護者が鷹栖町内で勤務しているなど、鷹栖町と関わりのある小学1～6年生を対象とし、無料で開催しています。内容は、子どもが持参した学校の教材や宿題、家庭学習のドリルなどを活用して、サポート隊の大人は、子どもたちが自分で考え答えを導き出せるよう、解らない問題の考え方やヒントを教えながら、ひとりひとりに寄り添った学習支援を行っています。



サポート隊は、①子どもの自主性を尊重する。②子どもに学びの楽しさを伝えることを大切にしています。子どもたちは、異学年が一つの場所で勉強に取り組むため、お互いの学びに刺激を受けながら、学ぶ姿勢や人間性を高め合えます。学習の後は、サポート隊が用意するプチ実験やゲームで子どもたちを楽しませる工夫を凝らしています。子どもに喜んで貰おうと励むサポート隊の姿は子どもだけではなく、支え手側の居場所や生きがい活動にも繋がっています。

また、開催場所の一つに、商業施設内にあるサロンスペースを使用しており、子どもの送迎ついでに保護者が買い物をしたり、店舗前に車が多く止まることで、他の客への呼び水となり、住民の購買力も高める相乗効果を生んでいます。

今年度の実績は、放課後第1・3月曜日16：30～18：00を15回、夏・冬休み9：00～10：30を8回、合計23回の開催となり、子どもの延べ参加者数は281名となりました。

サポーターもシニア世代の地域住民に限らず、地元の高校生や近隣の大学生に協力を

いただき延べ166名が寺子屋の事業に携わった。

---

●当麻町ボランティアの会（道北圏当麻町）

---

**事業概要・活動成果**

ボランティア会員が前日から材料の買い出しを行い、またお米や一部の野菜は会員が持ち寄り、当日午前8時に会員(役員)が集合してカレーライス・付け合わせ(サラダ他)を調理。午前11時過ぎには知的障がい者施設「かたるべの森」に通う利用者及び支援約80人が会場に到着し、午前11時30分会食スタート。毎年この企画を楽しみにしている利用者が多く、みな楽しそうに、美味しそうに、おかわりをしながら食べていました。会食が一段落してからは、お礼にと、利用者数名が得意の歌を披露して下さい更に楽しいひとときとなりました。

ボランティアの会は、この交流会以外にも草取りやガラス拭き、事業所のイベントなどのお手伝いもしており、この交流会は互いの親睦を深める上でも大きな役割を担っております。

---

●旭野住民会（道北圏・上富良野町）

---

**事業概要・活動成果**

旭野地区の分館等の周りの環境等の整備により地域全体の環境も良くなり、また、地域住民の意識もあがりました。

今後もこのような活動を継続していきたいです。



●社会福祉法人南富良野町社会福祉協議会（道北圏・南富良野町）

---

**事業概要・活動成果**

平成28年当町が豪雨災害となりその際たくさんのボランティアさんの手助けにより復興がなされました。そのことを教訓に今後のボランティア活動に生かすことができることを目標に活動していくことができました。

赤十字奉仕団員の皆さんとの炊き出し訓練、昨年より行っている地域住民・施設利用者・職員等、当社協管理施設合同避難訓練、令和元年台風19号災害に



おける活動で 10 月 25 日から 27 日の 3 日間の福島県相馬市内での被災者宅の床下泥出し、家具の移動など住民に寄り添った復旧活動を実施することができ、ビブスにより身元の確認がはっきりわかるなどボランティア活動にも幅広く活躍することができ、今後は自分達の経験をふまえながら被災地等の支援に積極的に参加することが出来るよう活用していきたいと思えます。

また、これら災害時等の支援活動ではボランティアの身分がわからないと不安を助長する事となるので、それらを払拭させる事ができるビブスは大いに役立ちました。

---

## ●なんもなんも倶楽部（道北圏初山別村）

---

### 事業概要・活動成果

地域に住んでいる子供たちから高齢者の皆さんを対象に、月1回なんもなんも食堂の開催を行っています。なるべく地域の野菜や海産物を使用し安全で美味しく、安価な食事を提供しています。大人200円、子供無料、お茶やコーヒ無料です。

また開店日は情報発信の場であることを目指し、毎回イベントを開催しています。今まで地域の方のピアノやマンドリンの演奏、コーラスやカラオケ、手打ちそば実演、地域写真愛好家による写真展示、防災用品の展示、昔の遊びコーナー（お年寄りからお手玉を習う子供たちの姿があります）大型絵本の読み聞かせ、などなどです。



また、『なんもなんも文庫』（会場でお茶を飲みながら本を読んだり、貸し出しもしています）『あげます・もらいますコーナー』（不用品を持ち込み、欲しい人が持っていきます）を常設し来店者の楽しみの一つでもあります。

また、装飾や生け花で会場を飾り来場者が毎回季節感や季節の行事を楽しんでいただけるよう趣向を凝らしています。

小さいお子さん連れの若いママさんが、子供たちを遊ばせながら、お茶を飲みながらママさんトークでのんびりできる場としても好評です。高齢者と子供たちとの交流の場でもあります。地域の障害者施設入所者の方の来店も増えておりイベントや会話を通して交流があります。なんもなんも食堂の開店日を住民の方々には月のスケジュールに組み込み、皆さん楽しみにして来店してください。

令和2年2月で、なんもなんも食堂第30回目をむかえました。

私たちは活動を通して、その地域に住んでいる皆さんを対象に小さな地域だからこそできる、目配り気配りができる強みを生かし、子供から高齢者を孤立させることなく皆で見守りささえ合うことが出来るのではないかと考えています

---